

クリスマスに備える黙想会 ～ ライアーの調べとともに～

テーマ「救い主を待ち望む―旧約聖書から」

2017年11月26日（日）午後1時15分～2時45分

場所：奈良基督教会礼拝堂

黙想講話：井田 泉 司祭

ライアー演奏：小野純子さん

祈り

♪ 前奏 プレリュード（バッハ）

講話1 導入 5分

- ・今日の趣旨とあらまし「救い主を待ち望む―旧約聖書から」
- ・黙想について
- ・今日の礼拝の旧約聖書の言葉から エゼキエル書 34:11-12

「まことに、主なる神はこう言われる。見よ、わたしは自ら自分の群れを探し出し、彼らの世話をする。牧者が、自分の羊がちりぢりになっているときに、その群れを探すように、わたしは自分の羊を探す。」

（沈黙）2分 ♪ わたしは自分の羊を探す（黙想会のために作られた曲）

講話2 ベオルの子バラム 10分

民数記 24:17

「わたしには彼が見える。しかし、今はいない。
彼を仰いでいる。しかし、間近にではない。
ひとつの星がヤコブから進み出る。」

（沈黙）10分 ♪ 星の呼び声□

講話3 ヨブ 10分

ヨブ記 19:25-26

「わたしは知っている

わたしを贖う方は生きておられ、ついには塵の上に立たれるであろう。

この皮膚が損なわれようとも

この身をもって、わたしは神を仰ぎ見るであろう。」

(沈黙) 10分 ♪ 主なるイエスは (Johann Crüger, 1649)

講話4 ミカ

ミカ書 5:1

(預言)

「1 エフラタのベツレヘムよ

お前はユダの氏族の中でいと小さき者。

お前の中から、わたしのために

イスラエルを治める者が出る。……

3 彼は立って、群れを養う」

♪ 星の呼び声□

(待望の祈り)

7:14

「あなたの杖をもって

御自分の民を牧してください

あなたの嗣業である羊の群れを。

彼らが豊かな牧場の森に

ただひとり守られて住み

遠い昔のように、バシャンとギレアドで

草をはむことができるように。」

(沈黙) 10分 ♪ なんときれいな夜明けの星 (原曲 Philipp Nicolai)
～♪ まきびと羊を

締めくくり 10分

エゼキエル書 34:11-12

「まことに、主なる神はこう言われる。見よ、わたしは自ら自分の群れを探し出し、彼らの世話をする。牧者が、自分の羊がちりぢりになっているときに、その群れを探すように、わたしは自分の羊を探す。」

(自分の祈りを書く。発表、提出はしない。)

祈り

聖歌 64 (1、2、4) 久しくまちにし

♪ 後奏 主はわたしの光

小野純子さん

同志社大学文学部卒業。ピアノ、ライアー、うたなどの純粋な響きに魅せられ、ことばと音の世界を深めると共に、指導、演奏を行っている。ライアーアンサンブル・プリモール主宰。コンサートライブCD『星の呼び声』、オリジナル楽譜集『ライアーのうた』、詩集『舞い降りるピアノシモ』を出版。滋賀県大津市在住。2015年、当教会重要文化財指定記念コンサート奏者。

○今回演奏された曲の多くは小野さんのオリジナル曲です。